

# 関東 電炉買値と浜値が同水準で様子見

(東京) 関東市場の鉄スクラップ市況は様子見横ばいの推移で10月中旬を迎えた。電炉筋の鉄スクラップ購入価格と浜値が同水準で並んでおり、値動きの材料を欠く状況だ。12日の関東鉄源テnder-H2落札価格が値下がりのもの、市中スクラップの発生・荷動きが鈍く、需要家筋は慎重な価格対応を維持している。

関東市場の16日時点のH2炉前実勢価格は1トあたり5万500~1500円中心。H2浜値は5万500~1000円中心、高値5万1500円見当だ。電炉購入価格は9月中旬から値上げ改定が広がり、10月に入ってから安値修正の動

きが散発。浜値に対して先行して上伸してきた。この動きに対応して湾岸商社・シッパー筋の間に価格対応が広がり、概ね電炉購入価格と同水準にまで浜値を引き上げた。

市中問屋筋の間に先高観は見られないものの、入荷量・在庫量とも薄く、出荷量が伸び悩んでいる状況だ。そのうえ、電炉筋、高炉筋、湾岸筋がそれぞれ引き合いを強めてきたため、鉄スクラップの流通が分散。需要家筋には不足感が残る状況となっている。需要家筋は当面、慎重な価格対応を続けそうだ。

## 日本鉄リサイクル工業会・関東支部 城東部会 定例会で市況や千葉県条例など情報交換

(東京) 日本鉄リサイクル工業会関東支部の城東部会(部会長=伊藤貴司伊藤信司商店社長)は12日、東京・錦糸町の東武ホテルレバント東京で定例会を開催した。部会員ら19名が参加した。

伊藤部会長は冒頭の挨拶で「早いもので来月の定例会が当部会の今年最後の会合となる。『暑さ寒さも彼岸まで』と言うが、こここのところ急に涼しい日が増えたので、寒暖差に気を付けてご自愛いただければと思

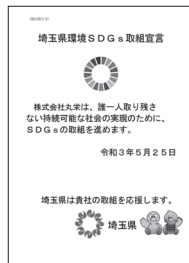
う」と述べた。

定例会では工業会の瀧下洋一常務参与が適正ヤード推進委員会の活動などの事務局報告を行った後、業界紙3社の記者がそれぞれ市況概況を報告した。今回は市況概況以外に、11日に千葉県が制定したスクラップヤードを規制対象とする条例に関する説明も行われ、申請の際の注意点や部会員の事業環境におよぶ影響などの情報を共有した。

## 丸栄 埼玉県から「環境SDGs取組宣言証」発給

(埼玉) スクラップディーラーの丸栄(本社=埼玉県久喜市桜田、諏訪丈晴社長)はこのほど、埼玉県環境政策課から「埼玉県環境SDGs取組宣言証」の発給を受けた。

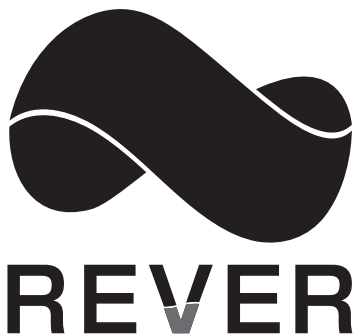
埼玉県が設けている「環境SDGs取組宣言企業制度」は、企業等が環境分野のSDGsのゴールの達成に向けた取り組みを宣言し、その取り組みが一定の要件を満たした場合、県のホームページ等で公開し支援する制度。県の建設工事の入札参加資格の格付加点が得られたり、県のメールマガジンで環境関連の補助金や企



業募集等の情報を得られたりする利点もある。

同社の「取組概要」には、主力事業の金属リサイクルの加工処理や中古鋼材の販売、選別の高度化によるダストの減容などが記載されている。このほか、工場内で使用する電力のほぼ100%を再生可能エネルギーとしていること、鉄スクラップを原料とする電炉製鋼は高炉製鋼に比べ1トの鉄の生産においてCO<sub>2</sub>の排出を1.39ト抑制できることを周知するため、CO<sub>2</sub>マイナス1.39トのバッジとステッカーを社員が装着し業務を行っていること等も記している。

同制度の概要や同社の取組報告は埼玉県のHPで公開されている。



サニーメタル株式会社  
イツモ株式会社

リバー株式会社  
<https://www.re-ver.co.jp/>